

障害者の芸術振興については、共生社会の実現を図る観点も含め、障害のある人たちがその個性・才能を生かして生み出す芸術作品を世界に発信するため、大会に向けて障害者の文化芸術活動を推進。

障害者の芸術活動を支援するための取組例

- 1 「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた障害者の芸術文化振興に関する懇談会」の開催
(厚生労働省と文化庁において、平成27年6月30日、12月9日に共同で開催)

〔事業内容等〕 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、関係者相互の情報共有やネットワークの構築を図るとともに、障害者の芸術文化の振興に資する取組について、広く関係者による意見交換を行う。

2 全国障害者芸術・文化祭の開催

〔事業内容等〕 ① 平成13年度から、障害者芸術・文化祭として、全ての障害者の芸術及び文化活動への参加を通じて、障害者の生活を豊かにするとともに、国民の障害への理解と認識を深め、障害者の自立と社会参加の促進に寄与することを目的として、全国障害者芸術・文化祭を開催。 ※ 国民文化祭と同一県で開催
② 2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の文化プログラムにつなげるための事業
(例：全国障害者芸術・文化祭の成果を全国に展開、レガシーとして残す、文化プログラムに向けた方策の検討等)

〔平成28年度予算(案)〕 40,244千円

〔開催県〕 愛知県(平成28年12月9日(金)～11日(日)予定)

【平成27年度全国障害者芸術・文化祭がごしま大会の様様】



3 地方都市における芸術・文化祭のサテライト開催

- 地域生活支援事業(障害者の芸術・文化祭のサテライト開催)

〔事業内容等〕 従来の文化芸術活動振興事業に加え、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における文化プログラムに向けて、平成28年度に愛知県で実施する全国障害者芸術・文化祭と連動して、地方都市においてサテライト型の障害者の芸術・文化祭を実施。

〔平成28年度予算(案)〕 地域生活支援事業464億円の内数(補助率：国1/2以内)

〔実施主体〕 都道府県

文化プログラムの推進 ②

4 障害者の芸術活動支援拠点モデル事業の実施

- 〔事業内容等〕
- ① 障害者の芸術活動支援拠点に関するモデル事業を実施する。
 - ② 障害者の芸術活動の支援の在り方等について、次に掲げる事業のノウハウを蓄積し、その成果をもとに更なる芸術活動の推進を図る。（実施主体：社会福祉法人、NPO法人、美術館等）
 - ・ 障害者及びその家族、福祉事業所等で障害者の芸術活動を支援する者への支援（出展機会、著作権等の権利保護等に関する相談支援、支援者の人材育成等）
 - ・ 障害者の優れた芸術作品の展示等の推進、関係者のネットワーク構築
 - ③ ロンドン大会やリオデジャネイロ大会における障害者の芸術文化活動に関する文化プログラムの研究

〔平成28年度予算（案）〕 109,645千円

〔実施主体〕 都道府県の推薦により、公募により選定



【平成26年度障害者の芸術活動支援 取り組み事例集】

5 国際障害者交流センター（ビッグ・アイ）における障害者芸術・文化活動支援事業等

〔事業内容等〕 障害者の芸術作品の巡回展の開催や先進事例の調査研究、芸術活動団体に対する専門的アドバイス等を行うとともに、内外の障害者が製作した作品の紹介等、海外との交流を行う。

〔平成28年度予算（案）〕 186,053千円

〔実施主体〕 ビッグ・アイ共働機構に委託



【巡回展（ビッグ・アイアートプロジェクト）の様様】